

東北・福島+埼玉=福の玉、が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

福は
うち!の
09号

福玉便り

2013年2月1日(金)発行

ふくたまだより

発行:『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・震災支援ネットワーク埼玉(SSN)

編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉 メール:fukutama@431279.com

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数俱楽部

ママランチ会に来ませんか

「こども☆夢☆未来フェスティバル2013」にて!

2月24日(日)14:00~(フェスタは10:00から)

「こども☆夢☆未来フェスティバル」(主催:同実行委員会、彩の子ネットワーク)にあわせて、「ランチ会」を開催します。慣れない土地、慣れない環境での子育てで、毎日たいへんな思いをしている避難家族のみなさん、子どもたちにはイベントで思い切りあそんでもらい、ママ&パパは、「馬車道伊奈けんかつ店」でちょっと遅めのランチを食べながら、情報交換やら「愚痴こぼし」をしませんか。お待ちしています!

場所:埼玉県県民活動総合センター内「馬車道伊奈けんかつ店」 埼玉県北足立郡伊奈町内宿台6-26

対象:埼玉県内に避難している子育て世代の皆さん(先着100名様)。

予約:参加希望の方は、(一社)埼玉労福協048-833-8731まで、電話での予約をお願いします。

※ランチには、託児所も設けますので安心してお越し下さい(予約時にお申込みください)。

※「ママランチ」という名称ですが、もちろんパパやお子さんも大歓迎です!

※参加者には、レトルトカレーや日常生活用品をお土産としてご用意しています。

伊奈町

参加費
無料

こども☆夢☆未来 フェスティバル2013

2013年2月24日(日) 場所:埼玉県県民活動総合センター(伊奈町)
開場:9:30 開催:10:00~16:00

入場無料
すべての園に
資材付
(要申込み)

あなたはどんな花を咲かせるの?



避難者の姿を映す ドキュメンタリー映像上映とトーク 越谷

2月10日(日)13:30~15:30

場所 越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」セミナールーム

参加費無料 (要申し込み)

定員 50人

どなたでもご参加いただけます。

※駐車場は有料になります

主催:越谷市男女共同参画支援センターほっと越谷
上映作品

『原発の町を追われて～避難民・双葉町の記録～』

ドキュメンタリー映像/2012年/日本/56分/監督:堀切さとみ

福島第一原子力発電所の直後から、さいたまスーパーアリーナへ集団避難した福島県双葉町の方々。そのときボランティア活動に参加した堀切さとみさんが、双葉町の市民が旧騎西高校へ移動した後もその姿を追い続け、避難者の声を拾い集めました。

トークゲスト 堀切さとみさん(上映作品監督) / 安齋作子さん(「一步会」事務局長)



福島と埼玉をつなぐ「福玉結バス(無料)」を運行します!!

「福島県ふるさとふくしま帰還支援事業」の一環として行うもので、埼玉県内に避難している福島県民の方の「マイカーで福島まで往復するのはつらい」、「福島県内の仮設にいる友人・知人・親戚にも来てもらいたい」というご要望にお応えして試験的にバスを運行するものです。ぜひ、ご利用下さい。

◎運行日

2月23日(土)・24日(日)

3月30日(土)・31日(日)

◎コース

①さいたま新都心～郡山～二本松～福島

②さいたま新都心～いわき市

◎大型バス1台(定員40名)

主催・問合せ:

(一社)埼玉労福協 048-833-8731





12月22日、東松山市の松山市民活動センターにて、「ふるさと交流会～新たな出会いとクリスマスリースをつくろう！」が開催されました。東松山市と鳩山町に避難している方が集う初の合同交流会で、70人以上の方が参加されました。当時は、出身地ごとにテーブルを囲んで和やかな懇談が行われました。会場では、クリスマスリース作りや東松山市、鳩山町の市長さん町長さん、そして、ゆるキャラも登場して、賑やかな会になりました。

合同でおこなわれたことで、たしかに「新たな出会い」がありました。今後も、隣のまち、さらには広域で交流を行うことで、同郷の方との再会や次につながる新しい出会いがあるのではないかと感じました。主催の東松山市社会福祉協議会



就職した縫製工場で一緒に働いていた元同僚で、約40年ぶりの再会だったそうです。笑顔で旧交を温め、「電話するから遊びに来てね」と声をかけあっていらっしゃいました。

合同でおこなわれたことで、たしかに「新たな出会い」

がありました。当時は、出身地ごとにテーブルを囲んで和やかな懇談が行われました。会場では、クリスマスリース作りや東松山市、鳩山町の市長さん町長さん、そして、ゆるキャラも登場して、賑やかな会になりました。

れ様でした&ありがとうございました。（編集部）



新しい出会いを 東松山・鳩山合同ふるさと交流会

鳩山・
東松山

おしゃくて、たのしい！

みんなでヤキイモタイム
in 加須

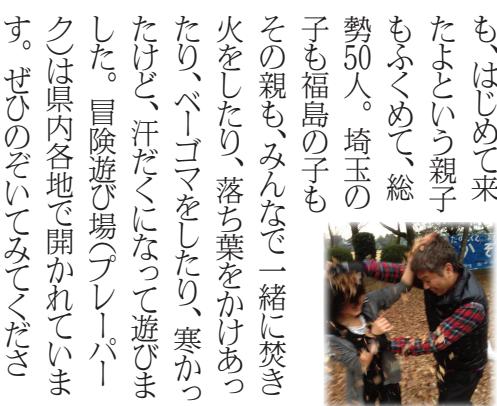


加須

in
かぞびば



（編集部）



賠償説明会のご案内

篠原美陽子(福島県浪江町出身)

個別相談会をひらきます。(ADR未提出の方に限ります。)

1 日時 2月23日(土)

9時から18時(一コマ80分での予約制です)

2 場所 鳩巣市市民センター 2F集会室

JR高崎線 北鴻巣駅東口より徒歩5分

*ご予約に合わせて当日お部屋までご案内します。

3 説明者

東京電力福島原子力補償相談室 総務課

4 持ち物 該当請求書一式※名寄せ・登記簿なども

5 予約 準備の都合上、予約制にしたいと思います。

篠原090-3981-3258 345shinohara@ezweb.ne.jp

メールでご連絡をいただけするとありがたいです

6 追記 座談会の場を設けます。

12時から13時15分 同センター2F和室にて

昼食、飲物、お菓子をご用意してお待ちしております。座談会のみの参加も可能です。(要ご連絡)



交流会: 青空・あおぞら

3月17日(日)13:30~16:00

所沢

会場: 新所沢公民館

埼玉県所沢市緑町1丁目8番

3号

交通: 新所沢駅西口より

徒歩8分(西武新宿線)

ところバス「緑町中央公園」

バス停より徒歩1分

参加申込先:

岡田 090-3960-8089、渡邊: 090-8424-9797 *事

前にお電話にて参加のお申込みをお願いいたします。

この【青空】は、双葉町出身の岡田恭子(旧姓・志賀)や、浪江町から避難してきた渡邊幸ら数名で立ち上げました。「心に抱えた想いを話す場所をつくりたい」とんな思いを込めて「キイモタイム」を行っています。お気軽に参加ください。(岡田)

横・縦・ななめの連携で

浪江町から鴻巣市に避難して、交流会、賠償説明会、会報の発行と、精力的に活動されてきた篠原美陽子さんに、「想い」の活動について紹介いただきました。（編集部）

鴻巣・上尾合同クリスマス会

鴻巣市で「想い」として、活動しておられます、篠原です。

鴻巣市では、12月15日にクリスマス会を去年に引き続



鴻巣

今回は昨年来ら

れなかつた方に加えて、上尾市被災者の会（代表 橋光頸さん）と合同で行いました。

これもひとえに、福玉とい

う会議を半年近く行ってき

て、各支援団体・被災者の会の連携ができてきました。証ではないか？と私は思つております。……他の団体でもこのよう

に、横・縦・ななめの連携ができるようになりました。くどいかな！と思つていい

鴻巣市への避難者の方は原子力被害者の方が多く、なかなか津波被災者の方への対応ができていなかつた為、上

尾市には、津波・自主避難・原子力災害と多岐にわたる避難者の方が多いと聞いて、これは、合同で行うことにより多くの方同士の結びつきができるのではないか？

「想い」を届ける

「想い」の活動の中心は、会報誌の作成・発送、東京電力による賠償相談会です。会報誌の発行はこれまで

阪まで70件ぐらいの方にお届けしています。友人・知人・被災者の会・様々な支援団体の方・東京電力の人・内閣府・環境省の知り合いになつた方々にもお送りしています。

今では北は秋田～南は大阪まで70件ぐらいの方にお届けしています。友人・知人・被災者の会・様々な支援団体の方・東京電力の人・内閣府・環境省の知り合いになつた方々にもお送りしています。



横・縦・ななめの連携を

また、鴻巣市から上尾市・川越市へ転居した方から、それぞれ上尾・川越での被災者の会への連絡の引き継ぎをやることや、杉戸町には、富岡町の避難者が多いと

いう事で、富岡町から鴻巣市へ避難中の方にご案内等を届けていただけたよう、その方々の連絡先をお伝えするという事も行いました。

私は自身が、ずっと鴻巣市にいる決めた訳ではないので、毎月にしてもやれる活動として、3・11の記録、避難日記から会報誌の作成が始まりました。

8号。相談会は2月23日（土）で第6回を迎えます。

私自身が、ずっと鴻巣市にいる決めた訳ではないので、毎月にしてもやれる活動として、3・11の記録、避難日記から会報誌の作成が始まりました。

今では北は秋田～南は大阪まで70件ぐらいの方にお届けしています。友人・知人・被災者の会・様々な支援団体の方・東京電力の人・内閣府・環境省の知り合いになつた方々にもお送りしています。

今後はこの活動がさらに活性化され、色々な方と連携を取っていきたいと思います。尚、会報誌をこの希望の方は篠原までご連絡をお願いします。

鴻巣市へ避難中の方には、川越からの避難者の方も来て下さり、スタッフを含め総勢72名という大規模な交流会となり、大盛況でした。



（想い）を届ける

（想い）の活動の中心は、会報誌の作成・発送、東京電力による賠償相談会です。会報誌の発行はこれまで

建の資金になり、私達が前に進む為の一つの方法だと考へて行っています。この相談会に、東京からいらっしゃる希

な交流会となり、大盛況でした。

篠原美陽子

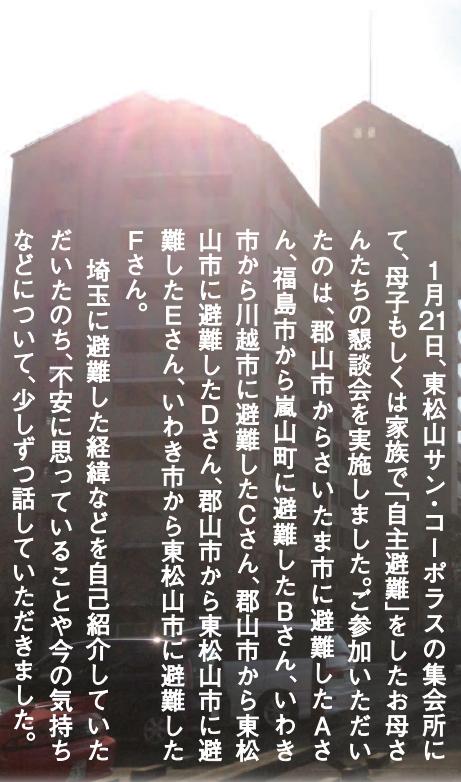
（福島県双葉郡浪江町身）

090-3981-3258

345shinohara@ezweb.ne.jp

「洗濯物を干している時に、ふと、『なんでここにいるんだつけ?』って思う。」

第1回 自主避難者懇談会



1月21日、東松山サン・コープラスの集会所にて、母子もしくは家族で「自主避難」をしたお母さんたちの懇談会を実施しました。ご参加いただいたのは、郡山市からさいたま市に避難したAさん、福島市から嵐山町に避難したBさん、いわき市から川越市に避難したCさん、郡山市から東松山市に避難したDさん、いわき市から東松山市に避難したEさん、Fさん。

埼玉に避難した経緯などを自己紹介していただきながら、不安に思っていることや今の気持ちなどについて、少しづつ話していただきました。

●福島と埼玉の間で落ち着かない気持ち

6人の方々のうち、早い方は震災直後、遅い方は昨年の夏に、埼玉に避難してこられました。一度は福島に戻ってから再び埼玉に避難した方もいらっしゃいます。まず、皆さんと共に通しているのが、福島と埼玉の間で落ち着かない気持ちでした。

「離れば離れるほど、福島に戻りづらくなる。だからと言つて埼玉に永住するわけでは

すが、神経質になりすぎ」と言われた経験をお持ちでした。また、義理のご両親との関係が、福島に戻るのを難しくして

『なんでの入学式に出席しているんだろう?』と思つた。』

●福島に残った家族や地元の自治体との関係

そんな気持ちは、福島に残つたご家族になかなか理解してもらえず、苦しい思いをされているそうです。複数の方々

が、義理のご両親から「気にしすぎ、神経質になりすぎ」と言

つて埼玉に永住するわけでは

と一緒に住んでいたので、別な家に住むとは言えなくて。」さうに、どの方も、地元の市民役所の対応での切ない思いをした経験をお持ちでした。

「こちらは低姿勢でお願いしても、『なんなら、関東に住んでください』とまで言われてシヨックでした。いずれ帰りたい

といふ気持ちがあるからこそ、

お金をかけて電話をかけてい

るのに…。」

母子避難だと、仕事がなかなか探せない。一時帰宅とか子どもの「…があるし。」

その中で、内職を始めた方も2名いらっしゃいました。内職には、やりがいにつながるとい

うメリットがある反面、子育て

の合間になかなか難しいと

いう声もありました。

母子で避難した方々の場合、

福島県に残つているご主人が、

週1回～月1回の頻度でこち

らに来られて、いるのです。ご

主人に感謝をしつつ、高速道路

料金の経済的負担やご主人の

体力的負担について、日々に心

配をされていました。

「高速道路が無料のうちは、

自分も頻繁に帰つて、主人もこ

ちらに来てたんですけど、4月

から無料が解除されたと同時に、子どもがガスボンに入つたの

で、週末にも帰る「…ともできな

くなつて…。子どもは『パパ、パパ』

…。」

『旦那が帰るのは、子どもが寝てから、夜中の3時くらい。『高

速で寝たからダイだよ』って濡れ

た鉢巻を頭に巻く姿を見て、泣

です。」

「ETCの割引とかがあればいいな、と思います。」

「子どもから離れる時間が欲

しいな、て思います。福島だと

千円で9時間預かってくれると

こうがあつたので。そういう千

重に払うなど、経済的な負担もかかっています。お仕事を始めたいと思いつつ、条件に合う仕事が見つからずに困つている

方がいました。

「母子避難だと、仕事がなかなか探せない。一時帰宅とか子

どもの「…がある。」

その中で、内職を始めた方も2名いらっしゃいました。内職には、やりがいにつながるとい

うメリットがある反面、子育て

の合間にはなかなか難しいと

いう声もありました。

「私は内職を友達に紹介して

もらって、1ヶ月に1万円ぐら

いしかならないんですけど。会

社の人には『がんばったね』と言つてももらえると、必要とされてい

る感じで、うれしい。無心にな

れる時間ができて、気持ちに張

り合いが出てきたかも。」

「私も内職をしたんですけど

ど、下の子が小さくて昼間はで

きなくて、夜中に寝ないで仕事

をしたら身体を壊してしまつて

…。」

今後のことについて、おひと

りの方はこの春に福島に戻ることを決意されたそうです。

他の方々は、少なくとも現在の

住宅にいられる来年の春まで

は埼玉で生活する予定で、その後のことはまだ迷つている

のことでした。

福島便り編集部では、今後

も、自主避難者の方々やお子さ

んを抱えたお母さん方を対象にした企画を実施しながら、必

要な支援について一緒に考え

なく、どうつかずな気持ちがする。」

「洗濯物を干している時に、ふと、『なんでここにいるんだつけ?』って思う。」

「私も、子どもの入学式で、

いるという方もいらっしゃいました。

した。

「福島に戻つたら、同じ市内で少しでも線量の低い場所にアパートを借りて住みたいと思つけど…。もともと義理の両親

東日本大震災広域避難者支援サロン ハーモニー／双葉理容

埼玉県北東部に位置する加須市。国道122号線沿いにある、「東日本大震災広域避難者支援サロンハーモニー」と、「双葉理容」を訪ねました。

●ハーモニー

「ハーモニー」は、避難された方の「ミユニティ」の場として2012年8月にオープンした、常設サロンです。10年使っていなかつた空き家をボランティアスタッフで手をかけ、使えるように整えました。

歌とお話の会やヨガ、悩み・健康・法律相談を開催しています。毎週水曜日には、お昼に一汁一菜の健康食を200円で提供しています。

「この設立にはたくさんのボランティアが関わりまし



双葉町の皆さんの手作り品。丁寧に作られた布草履。

かそそうになつた。つい、『ハーモニー』に来させていいのかな?』と思つてしまふ。」

●双葉理容

同じ敷地内には、双葉町で営んでいた「双葉理容」が「ハーモニー」協力・運営のもと、昨年12月に再開しました。同町から避難してきていた大井川繁光さん、妻・昭子さん、長男の妻・礼子さんが担当しています。

「今日も4人ほどお客様が来てくれました。ここで、お互いの震災後の話なんかをして、一緒に涙を流すこともあります」

孫に残そうと思っていた自分のお店もなくなつてしまい、今後どうしていくか、悩んでいると大井川さんは言います。

「いまは、お金儲けじゃないくて、お客様が大事。来てくれば一生懸命やろう、といふ前向きな気持ちになります。オープンの時、いろいろな人が来てくれて嬉しかったけど、もっと嬉しかったのは、最近の、2回目のお客様です。オープンだから行



双葉理容

TEL:0480(53)4865
(定休日:月・火曜日)

※現在、理容用の椅子を探しています。もし不要になつた備品がありましたら、ご連絡ください。

「ハーモニー」は、埼玉県内の避難者交流会を2013年1月より、毎月開催します。場所は大宮ソニックシティ、最終土曜日or日曜日を予定しています。是非お越しください。2月は24日日曜日を予定しています。

くは、ひとりぼっちのままでした。でも、参加してみたら、人のつながりができる、不安が少し解消された。してもらつばかりで申し訳ないなつて思うんで、だけど、出来る限り参加したい

たい」と思ひます。ご意見・ご要望がありましたら、貴重なお話をありがとうございます。(ご参加いただいた皆様、貴重なお話をありがとうございました)

甲状腺検査レポート

—「何もわからない」状態から

今の状態をつかむために—

県の甲状腺検査の順番がなかなか回ってこないという声を聞きます。そんな中、県内に避難してきている根岸恭子さん(仮名)は自費で甲状腺のエコー検査と血液検査を受けました。恭子さんは幼稚園に通うお子さんがいます。震災当時は2歳。子どものが放射性ヨウ素の影響による甲状腺被ばくを心配しています。

甲状腺科のある内科との出逢い

もともと恭子さんは避難している地域の「甲状腺科のある内科」を数軒探してありました。ある時、風邪をこじらせた時に、近所のかかりつけ以外にも知っている病院を増やすつもりで、そのうちの一件の病院を受診。先生に避難していること、子どもの甲状腺が心配でエコーと血液検査を考えていることなどをお話しをたそうです。

すると先生が、「医学的にいふことはないとと思うけれど、今のデータを持つていてることは大事だし、照らし合わせるデータがあるのとないのとでは大きな違いがあると思う」と言ってくれたそうです。→

幸い、お子さんにエコー検査で異常はありませんでした。ただ、恭子さんは震災直後から何となく腫れているように感じていた甲状腺の右側から嚢胞がひとつみつかります。今、嚢胞は水分だから丈夫。大人だと、気にしていればわかるから、おかしいな、と思つたらすぐに来ればいい」と先生に言われ、少し安心できました。→

改めて、
恭子さんとお
子さんは甲状腺エコー検査と
血液検査を受けることになり、
さらに1週間後、結果を受け
取りに行つたそうです。



エコー検査の結果

■全国で開催されている、「支援法」関連イベント

年明けから全国各地で支援法関連のイベントが開催されています。現在、1月～3月までに、山梨、兵庫、香川(高松)、岡山、福島(郡山／福島／西郷村)、東京(四ツ谷／永田町／渋谷／調布／飯田橋／永田町／渋谷)、茨城(守谷)、群馬(高崎)、宮崎、鹿児島、大阪、愛知、栃木(宇都宮)、京都と、全国各地で開催されます。原発事故の影響で全国各地に避難した人が、この法案に望みを掛け、要望を復興庁に届けています。

携も必要となってくると言われています。「支援対象地域」は、国際放射線防護委員会(I C R P)が公衆被ばく限度を年1ミリシーベルトとしているため、「年1ミリシーベルト以上の地域」という声が、市民団体はじめ、国会議員の中からも上がっています。

■具体的に何が支援される?

現在、「原発事故子ども・被災者支援法市民会議」が復興庁に出している要望は、
 •移動に必要な費用補助(避難／保養／健診／家族と会うため)
 •被ばく低減や生活再建のために必要な支援
 などがあります。

この支援法に深く関わり、セミナーやシンポジウムなどを各地で開催している弁護士の尾谷恒治先生が、さいたま市に来てくださいます。

託児あり、質問タイムあり、会場は駅からとても近いです。是非、勉強会にご参加ください。

原発事故子ども・被災者支援法勉強会(仮)のお知らせ

2月16日(土)午前10時～12時

場所:With you さいたま

視聴覚セミナー室(JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線「さいたま新都心駅」/JR埼京線「北与野駅」徒歩5分)

講師:尾谷恒治 弁護士(SAFLAN/福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク)

参加費:無料



※託児あります。希望される方は下記に、2/12までにご連絡ください。

主催:With Youさいたま さいがい・つながりカフェ実行委員会

共催:『福玉便り』編集部

お問合せ:090-4226-9259(伊藤)まで

昨年6月、超党派の議員立法として成立した「原発事故子ども被災者支援法」。避難する人、住み続ける人、故郷に戻る人、どの人にとっても必要な支援をするという画期的な法案です。

■法案のポイント

この法案のポイントはいくつかあります。

- ・在留、避難、帰還それぞれの立場を認める
 - ・特に子ども(胎児含む)の健康影響の未然防止、影響健康診断及び医療費減免
 - ・「国の責任」の明記
 - ・「支援対象地域」が未決定
- 復興庁が窓口ですが、この法案に関わる官庁は幅広く、実際の施行のために、連

甲状腺血液検査の結果

福島県の甲状腺検査は工コ一のみで甲状腺血液検査がないため、恭子さん親子は血液検査も受けました。

子どもの採血は見ていているのがつらかったと話してくれました。それなりの量が必要とされるため両腕から採血したとか。「こんな想いをさせて申し訳ない」と悔しくて涙が出た、と恭子さんは言います。

甲状腺ホルモンにはT3およびT4というホルモンがあり、このホルモンをコントロールしているのがTSH(甲状腺受容体ホルモン)です。T3あるいはT4ホルモンが低下するとTSHは上昇、T3、T4が上昇するとTSHは低下、という作用があります。それぞれの数値が基準値を超えて高いか(あるいは低すぎるか)によって、「甲状腺機能亢進症」(あるいは「甲状腺機能低下症」と診断されるそうです)。お子さんは基準値ギリギリの数値が出て、恭子さんは心配になつたそうですが、先生は、「子どもの場合は体調によつて大人よりもばらつきが出

る。大人は診断しやすいけど、子どもは簡単ではないです」と話してくれたそうです。

そのため、検査を持ちかけた日にも「とにかく正常など

き、「元気なときに来てください」と先生はおっしゃっていた、と恭子さんは言います。

経過を診るために、次回は半年後で大丈夫、と言われたそうですが「もし、地元に帰る予定があつて、その前に診て欲しい」ということだつたら、3ヵ月後でもいいです」と言つてもらえた、とも話してくれました。

検査を受けてみて

いろいろな考え方の人、いろいろな立場の人もいて、賛否両論あると思うのですが、私は個人的には受けてよかつた、と思ひました。大丈夫かどうかわからないのが怖い、と思ってるよりも、今、この状態のデータがあるのは強みだと思っています。知りたいな、データを持っておきたいな、と思つてゐる人は、検査をおすすめします」と恭子さんは話してくれました。

(恭子さん、ありがとうございました。)

福玉アンケートへのご協力、ありがとうございました。

福島県外への避難者に対する福島県からの支援が少なく、「労福協などからの支援はありがたい」「避難者同士でもっと交流したい」という意見も多数ありました。支援やイベントの空白地帯がないように、きめ細かく支援の体制をつくつてくよう、考えていくたいと思います。

昨年12月、『福玉便り』に住所をご登録いただいたいる方を対象に、「避難先・避難元からの生活支援と交流」「家族・子育て」「仕事」に関するアンケートをお送りし、184人の方から回答をいただきました。ご協力いた

だいた方に、改めてお礼申し上げます。なお、アンケートの詳細は次号以降の『福玉便り』などで紹介する予定ですが、今回は自由記述欄からの意見をいくつか紹介したいと思います。

■家族・子育て・教育について

医療や子育て支援、子どものためのイベント、遊び場に関する情報が欲しいという声がありました。「地域の子育て支援センターでは、すでに友人関係が固まっているため、避難者の方が入りにくく感じたり孤独感も感じる」という声もあるよう、避難者のための交流スペース、イベントが必要です。さらに、一人で子育てをするストレスが子どもに影響することへの悩み、受験の悩み、福島から来たことでいじめに遭つかもしれない、「交通費がかかるために参加しづらい」などの意見が寄せられました。また、交流イベントにおいて、強制避難と自主避難、世代の違いなどの違いから、スマートに交流しにくいといふ声もありました。一方で、

■仕事について

母子の自主避難の方は、二重生活による経済的負担がある中で、育児と両立できる仕事

がなかなか見つからないといふ声が複数ありました。子連れで働く仕事の斡旋や、一時的に託児ができるサポートが喫緊の課題であるといえます。一方、福島に帰つてからの就職先を見つかるかどうかという不安や、いつまで避難生活を続けるのか、今後どこに住むのか全く先の予定が立たないので仕事を見つけるのも就職活動するのも難しいという意見もありました。

この他にも、さまざま意見、思いを書いていただきました。「支援」というものに、どう向き合つていけばいいのか…自分が今後どうしていきたいのかもあいまいで、「これを求めてくるといふのが、自分自身よくわからなくなつていて」といふ声が寄せられたように、支援のあり方を今一度考え直す時期に来ているとも言えます。アンケートの意見を踏まえて、少しずつ、今後の支援活動に反映させていきたいと考えております。皆さんのご協力もお願いいたします。



やいまたコープさんよりお知らせ * 東日本大震災で被災して避難して来ている方は、個人宅配の手数料が無料となっています。受付 0120-043-502まで!

月 火 水

木

金

土

日

女性のための電話相談ふくしま
0120-207-440
月～金(祝日のぞく)10時～17時
協力:女性の自立を応援する会/いわきふれあ
いサポート/郡山市・いわき市など

2月

■川越市 4
**ここカフェ
@川越**
岩塩バスソルトで手浴
10:30-13:00
コーポラティブ川越
090-4226-9259
(伊藤さん)



5 6

■杉戸町★つづじの里サロン
毎週木曜13:30-15:30
杉戸住宅6-301 0480-31-
0055(つづじの里サロン事務局)
■加須市毛糸で小物作り
9:30-11:30
7 旧騎西高校生徒ホール★
双葉町老人クラブ女性会・W
ith Youさいたまいがい・つ
ながりカフェ共催

11

12 13

インターネットでも最新情報をご案内しています。
http://431279.com/
震災支援ネットワーク埼玉(SSN)

18 ■川口市 19
ひまわりの会
10:00～おしゃべ
りサロン
12:00～バスボ
ムづくり、気仙沼
に送ろうひざ掛けモチーフづくり
南鳩ヶ谷 やす
らぎ会館
080-4920-4931
(ひまわりの会)



20

■春日部市 21
春日部つながりカフェ
13:30～16:00
ぱぱら春日部 4F会
議室3 048-829-7400(SSN) ★

22

■東松山市 23
さずなの会
東松山ハートピア祭りに
て、せんべい汁を出店
■鴻巣市賠償説明会
2ページに紹介

24

■加須市 24
うどんを食べて交流会
11:00～ 寄り添いステーション騎西
090-1650-2874(富沢さん)
■伊奈町 福玉ママランチの会
1ページに紹介記事

ありがとうございます!

本誌の印刷は、「富士ゼロックス埼玉端数俱楽部」(社員ボランティア)の皆様に全面的にご協力いただいております。



★生活相談

福島県の県外避難者支援事業のひとつとして、障害のある方、障害児の保護者を主力に、就業・就学支援と生活相談業務を行います。企業への就職や必要なIT研修会なども適宜行います。(要予約)出張相談にも応じます。

受付:毎日(月-金)10:00-16:00

電話(FAX):048-714-0508

場所:埼玉県浦和大久保合同庁舎5F埼玉NPOハウス内(埼玉県さいたま市桜区上大久保519-1 JR「北浦和」または「与野本町」、「南与野」からバス、埼大通りヤマダ電機裏)

※必要に応じて送迎ができますのでお電話下さい。

特定非営利活動法人 ワーク埼玉(山中)

『福玉便り』編集委員会
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会
電話048-833-8731
メール:fukutama@431279.com

■上尾市 1
ひまわり会合
10:00～11:30
食事会 11:30～14:00
シラコバト団地集会室
048-774-6323(団地自治会事務所)
080-3091-6215(橋さん)

2 ■新座市 3
新座つながりカフェ
13:30～16:00
栄公民館 090-4968-5685(下瀬さん)

■羽生市 羽生つながりカフェ 10
11:00～15:00 パープル羽生
048-601-3111(With Youさいたま)
■加須市 うさぎの雑人形製作講習会
10:00～12:00 寄り添いステーション
騎西 090-1650-2874(富沢さん)
■越谷市 映画上映会
1ページに紹介記事

■ふじみ野市 17
**おあがなんしょ
「じっくり語ろういろりっぽた」**
13:00～16:00 ふじみ野市フクトピア
049-261-0681(実行委員会)

■さいたま市 14
さいがい・つながりカフェ
11:00～15:00
With Youさいたま
048-601-3111 ★

■さいたま市 16
**原発事故子ども・被害者支援
法勉強会(仮)**
With Youさいたま6ページ参照

よりそいホットライン
0120-279-338
365日24時間。無料です。
震災・避難関連の相談をはじめ、
生活の困り事、心の悩みなど、どんな
内容でも対応してくれます。

■暮らしとこころの総合相談会
毎週木曜日 15:00-19:00 JACK大宮5階
集会室 (JR大宮駅西口徒歩1分) 対象:埼玉県
内在住の方。相談無料。048-782-4675
(予約直通電話)。運営主体 夜明けの
会(埼玉県委託事業)事務局

提供しています。支援物資のご案内

「日本が最も寒くなる2月、業務スーパーを開催する神戸物産様から、寄せ鍋のもと(スープ3～4人前)をご提供頂きました。魚介や野菜など好みの具材を煮込むだけで簡単においしい寄せ鍋ができあがっちゃいます。昨年の冬も大好評だった寄せ鍋のもと、今年も「キムチ鍋」と「ちゃんこ鍋」をあわせてご用意致しました。

「ネット21熊谷(熊谷市)」「寄り添いステーション騎西(加須市)」「ネット21久喜(久喜市)」「川口市労働会館」で提供しています。さいたま市やその他の地域の方は(一社)埼玉労福協まで電話(048-833-8731)でお申込み下さい。

福玉便り
お送りします。

ご希望の方には、本紙を郵
送でお送りします。

